



大阪の梅田や淀屋橋、東京の丸の内などで斬新な手法で街づくりや商業施設開発に取り組み、注目を集めているケイオス社長の澤田充さん。その原点は陸上選手としてならした大学時代や、リクルートでの会社員生活にあった。大阪と東京を行き来する「街づくりプロデューサー」に「これまでの道のりを語ってもらった。(聞き手 佐藤安律)

— オフィスビルが立ち並ぶ大阪・淀屋橋にレストランやブティックなどを集め、大人が楽しめる街をつくる「淀屋橋WEST」。

澤田さんにとってはライフワークだそうですね。

澤田 7月27日に新たに中華料理店がオープンしました。テレビの「料理の鉄人」に出たこともある香港の有名シェフの店です。これで飲食店は10軒になりました。

ケイオス社長 澤田 充さん

さわだ・みつる 昭和35年、兵庫県生まれ。関学大社会学部卒。昭和59年リクルート入社。ビル事業部マネジャー、経理課長を経て平成5年に退社。同年、リクルート時代の同期と2人で商業施設開発の街づくりなどを専門とする会社、ケイオスを大阪市中央区で設立。大阪・梅田の商業施設「イーマ」、淀屋橋南西部での街づくり「淀屋橋WEST」、東京・丸の内での商業ゾーンプロデュースなどを手がけ、注目をされている。



街づくり 仕掛人

①

— 1軒のテナント探しが始まりなのか  
澤田 そう。街づくりと

1軒のテナント探しが始まり

時や2時でもお客さんがたくさんいて繁盛しているスペイン料理レストランがあった。そこに僕が行き、「質が高くて値段も手ごろで、お客さんに自分の店と思ってもらえるような店を集めたい」と話したら、オーナーがすぐに賛同してくれ、その日のうちに自転車で見に行ってくれました。

— 平成15年8月に、ま

ずこのスペイン料理のレストランを含めて3店舗がオープンしたのです。

澤田 住友商事のビルでテナントが空いたフロアの面積は100坪。スペイン料理レストランが必要な面積は30坪というところでしたが、近くにあった日本料理店が進出してくれることになり、残りの70坪を使ってもらうことになった。さら

した。どこも繁盛してしま

すよ。来年春には、小学校跡地にオフィスとファッションの店舗を中心とした大型ビルが誕生します。

— 淀屋橋WESTをどんな街にしようか

澤田 淀屋橋は大阪の代表的なビジネス街ですが、夜になると人が歩いていない。ビジネス機能に偏っていて、仕事が終わればすぐ帰ってしまうような街でした。街づくりに取り組む

というのは、こちらが勝手にやりました。来春には、小学校跡地にオフィスとファッションの店舗を中心とした大型ビルが誕生します。

— 淀屋橋WESTをどんな街にしようか

澤田 淀屋橋は大阪の代表的なビジネス街ですが、夜になると人が歩いていない。ビジネス機能に偏っていて、仕事が終わればすぐ帰ってしまうような街でした。街づくりに取り組む

— 声をかけたのはスペイン料理レストラン  
澤田 この近くに午前

に別の飲食店も近くのビルに進出してくれることになり、3店舗が同時にスタートすることになりました。

— 「人が住んでる街」というのが澤田さんの持論です。その意味は

澤田 住むということ、その街の当事者になるということだと思っております。住めば、愛着が出てきます。淀屋橋WESTにも、いずれは住宅を整備したいと考えています。